

Lex

rotary

日本語ユーザーマニュアル



strymon®

もくじ

各部の名称と働き	3
フロントパネル・コントロール	3
リアパネルI/O & コントロール	5
ライブエディット機能	7
Bi-Amp 出力モード	7
Cab Filter	8
MIDI クロックとの同期	9
MIDI エクスプレッションへの反応	10
パワーアップモード	11
入力レベル	11
バイパスモード	12
EXP/MIDI ジャックの設定	13
外部コントロール	15
エクスプレッションペダル セットアップ	15
外部スピードスイッチ モード	16
フェイバリットスイッチ セットアップ&コンペア モード	17
タップ モード	19
MultiSwitch Plus の設定	20
MultiSwitch Plus の使用法	21
Lex のプリセットをMultiSwitch Plus でセーブする	21
MIDI 機能	22
MIDI チャンネルの設定	22
MIDI モードにおけるプリセットの保存	27
MIDI スペシフィケーション	28
MIDI プログラムチェンジ	28
MIDI CCs	29
ファクトリーリセット	30
主な仕様	32
スペシフィケーション	33
電源アダプター規格	33
Appendix 1:サンプルレセッティング	34
Appendix 2:パワーアップモード クイックリファレンス	36
ジェネラル・オプション	37
MIDI & Jack オプション	38
Appendix 3:ライブエディットコントロール クイックリファレンス	39
品質保証に関して	41

各部の名称と働き

フロントパネル・コントロール

MIC

ステレオマイクとキャビネットの設定位置を変更します。

Front：キャビネットの一部がカバーされているフロントサイドから集音するポジションです。

Rear：オープンバックのリアサイドから集音するポジションです。

SPEED

SLOW/FAST フットスイッチで切り替えるロータリースピーカーの回転速度を設定します。

HORN LEVEL

高域周波数用のホーン出力レベルをコントロールします。

MIC DISTANCE

ホーンとローターのマイキング（ステレオマイクとの）の距離を調整します。左に回し、近いポジションの設定ではアグレッシブな効果が得られ、右に回して遠ざけるとアンビエンスな揺らぎが得られます。

SLOW / FAST

ロータースピードを **SLOW** または **FAST** に切り替えます。 **レッド** LEDがスピードを表示します。



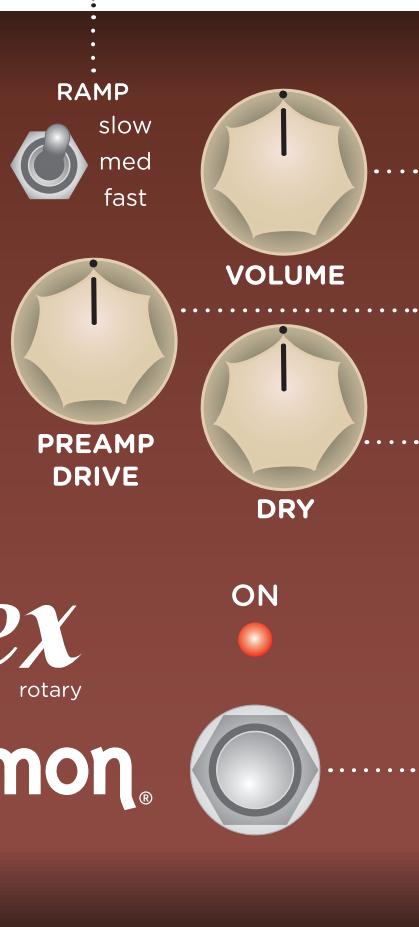
NOTE : ホールドするとブレーキが掛かり回転が止まります。
離すとノーマル動作に戻ります。

各部の名称と働き

フロントパネル・コントロール

RAMP

SLOW/FASTフットスイッチの操作時にローターの立ち上がりスピードをコントロールします。それぞれのローター立ち上がり時間は異なり、低域ローターは遅く立ち上がります。



VOLUME

ペダル信号の+/-6dBのブースト/カットコントロールが可能です。12時の位置がユニティーゲインです。

PREAMP DRIVE

ロータリー・キャビネット内のチューブ・プリアンプと位相インバーター回路のドライブ量をコントロールします。時計回りで最大に近づくほどオーバードライブしたサウンドが得られます。

DRY

ドライ信号のブレンドレベルを調整します。左に回し切った状態で最小、右に回し切った状態でドライとエフェクトが50：50になります。

EFFECT ON

エフェクトをオン/オフします。オンの時にはレッドLEDが点灯します。

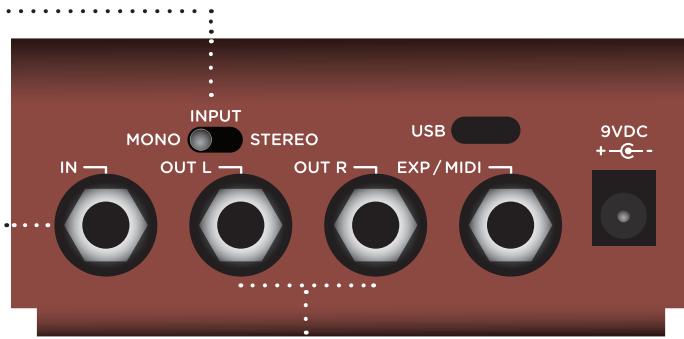
リアパネル I/O & コントロール

オーディオ入力セレクター

MONO：ギターのようなモノ入力信号に使用します。

出力はステレオです。モノ出力での使用は**OUT L**のみを使用します。

STEREO：ステレオ入力信号の場合に選択します。出力はステレオです。



IN
モノラル、超低ノイズのディスクリート
Class A JFETプリアンプ入力です。
ステレオ入力にはTRSステレオアダプタ
ーまたはTRSステレオケーブルを使用し
ます。

OUTPUTS

ローインピーダンスのステレオ出力で
す。モノ出力使用時は**OUT L**のみ接続し
てください。

リアパネル I/O & コントロール

USB

MIDIコントロール、ファームウェアアップデートを行う際にコンピューターと接続するポートです。

9VDC

9VDC（センターマイナス、300mA以上）の電源と接続します。

- 9VDC センターマイナス
- 300mA以上



EXP / MIDI

本機を外部からコントロールできるマルチコミュニケーションジャックです。以下のオペレーションモードが選択できます。 ([詳しくは13ページをご覧ください。](#))

エクスプレッションペダルモード：[ページ15](#)

フェイバリットモード：[ページ17](#)

Tipモード：[ページ19](#)

MIDIモード：[ページ27](#)

MultiSwitch Plusとの使用：[ページ20](#)

ライブエディット機能

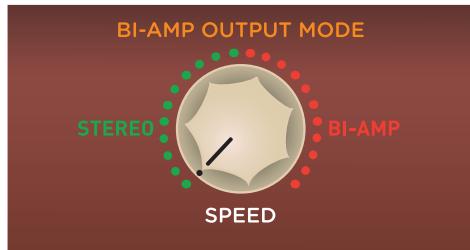
通常はステレオ出力になっている（デフォルト設定）アウトプットを低域と高域に分けて出力（Bi-Amp）できます。Bi-Amp モードでは、Left 出力＝ウーハー信号、Right 出力＝ホーン信号が出力されます。

Bi-Amp 出力モード

- ON フットスイッチを長押ししてライブエディットモードへ入ります。
両 LED が点滅したらスイッチを離します。



- 図のように SPEED (BI-AMP) ノブを回して Stereo または Bi-Amp を選択します。



- Stereo : グリーン (デフォルト設定)
- Bi-Amp : レッド

- ON フットスイッチを押し、このセッティングを保存してプレイモードへ戻ります。

NOTE : このオプション設定は、フェイバリット毎、MIDIプリセット毎に保存できます。

ライブエディット機能

Cab Filter

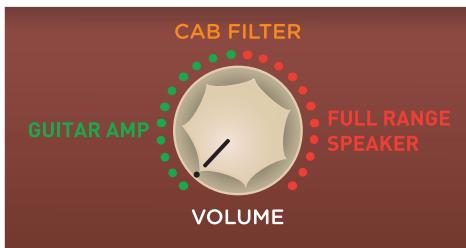
ギター・アンプに接続する場合、またはフルレンジ・スピーカーに接続する場合、それぞれの出力用キャビネット・フィルターが選択できます。

- ON フットスイッチを長押ししてライブエディットモードへ入ります。

両 LED が点滅したらスイッチを離します。



- 図の VOLUME (CAB FILTER) ノブを回してキャビネットフィルターを選択します。



- ギター・アンプ：グリーン（デフォルト設定）
- フルレンジスピーカーシステム：レッド（ダイレクト・レコーディングに用います。）

- ON フットスイッチを押し、このセッティングを保存してプレイモードへ戻ります。

NOTE : このオプション設定は、フェイバリット毎、MIDIプリセット毎に保存できます。

ライブエディット機能

MIDI クロックとの同期

本機の Speed と MIDI クロックの同期を決定します。

- 1 ON フットスイッチを長押しします。

両 LED が点滅したらフットスイッチを離します。



- 2 RAMP スイッチで Lex と MIDI クロックとの同期設定を決定します。

両 LED が一時的にステータスカラーに点灯します。

- スイッチを下げて **fast** にして同期をオフにする：レッド（デフォルト設定）- MIDI クロックと非同期です。
- スイッチを **slow** にして同期をオンにする：ブルー - (MIDI クロックと同期します。)

NOTE : MIDIに同期すると、LEDがピンクに点灯します。SPEEDノブが入力されるクロックテンポのマルチプライヤー/ディバイダーの働きをします。設定は左から1/4（最小）、1/3、1/2、x1、x2、x3、x4（最大）に設定できます。

- 3 ON フットスイッチを押し、MIDI クロック設定を保存してプレイモードへ戻ります。

NOTE : MIDIクロックセッティングは、フェイバリット毎、MIDIプリセット毎に保存できます。

ライブエディット機能

MIDI エクスプレッションへの反応

MIDI モード設定の際、本機が MIDI エクスプレッション CC#100 を受け (0= ヒール ~ 127= トウ)、TRS エクスプレッションペダルと同様のノブセッティングコントロール動作をするかを決定します。

① ON フットスイッチを長押しします。

両 LED が点滅したらフットスイッチを離します。



② MIC スイッチで MIDI エクスプレッション CC#100 への反応を決定します。

両 LED が一時にステータスカラーに点灯します。

- スイッチを **front** にセットすると MIDI エクスプレッションが **On** になり、一時的に **ブルー** に点灯します。- MIDI エクスプレッションに反応します。(デフォルト設定)
- スイッチを **rear** にセットすると MIDI エクスプレッションが **Off** になり、一時的に **レッド** に点灯します。- MIDI エクスプレッションに反応しません。

③ ON フットスイッチを押し、MIDI エクスプレッションを保存してプレイモードへ戻ります。

NOTE : MIDI エクスプレッションセッティングは、フェイバリット毎、MIDI プリセット毎に保存できます。

パワーアップモード

入力レベル

エフェクトプロセッシングへの入力レベルの選択です。

- ① ON フットスイッチを長押ししながら電源を接続します。
両 LED が点滅したらフットスイッチを離します。



- ② SPEED ノブで入力レベルモードを変更します。
ノブを回すと SLOW/FAST LED がステータスカラーに点灯します。

- インストルメント：**グリーン**（デフォルト設定） - 入力のヘッドルームがギター信号レベルに設定されます。
- ライン：**レッド** - 入力ヘッドルームが 10dB 上がり、ラインレベルに対応します。

- ③ いずれかのフットスイッチを押し、入力レベルを保存してプレイモードへ戻ります。

NOTE : パワーアップモード設定は、同じ方法で変更されるまで有効です。
セッティングはプリセット毎に保存できません。

パワーアップモード

バイパスモード

本機でバッファードバイパスを選択すると、長いケーブルでギターを繋いだ時に起こる（入力信号の）高域の劣化が防げます。

- 1 ON フットスイッチを長押ししながら電源を接続します。

両 LED が点滅したらフットスイッチを離します。



- 2 VOLUME ノブでバイパスモードを変更します。

ON LED がステータスカラーに点灯します。

- トゥルーバイパス：グリーン（デフォルト設定）
- バッファードバイパス：レッド

- 3 いずれかのフットスイッチを押し、バイパス設定を保存してプレイモードへ戻ります。

NOTE : パワーアップモード設定は、同じ方法で変更されるまで有効です。
バイパスモードの設定はプリセット毎には保存されません。

パワーアップモード

EXP/MIDI ジャックの設定

- ① SLOW/FAST フットスイッチを長押ししながら電源を接続します。**
両 LED が点滅したらフットスイッチを離します。



- ② VOLUME (EXP/MIDI JACK) で EXP/MIDI ジャックの動作機能を変更します。**
ON LED がステータスカラーに点灯します。

- エクスプレッションペダルモード：**グリーン**（デフォルト設定） - TRS エクスプレッションペダル（推奨 $25k\ \Omega$ ）を接続し、アサインしたコントロールノブがペダルから操作できます。（詳しくは [15 ページ](#)をご覧ください。）
- 外部スピードスイッチモード：**パープル** - ロータースピードを外部から切り替えます。（詳しくは [16 ページ](#)をご覧ください。）
- フェイバリットモード：**アンバー** - strymon MiniSwitch でフェイバリットセッティングがリコールできます。（詳しくは [17 ページ](#)をご覧ください。）
- タップモード：**レッド** - LAG TIME がタップインでセットできます。推奨フットスイッチ：strymon MiniSwitch（詳しくは [19 ページ](#)をご覧ください。）
- MIDI モード：**ブルー** - strymon MultiSwitch Plus (3 プリセット) でプリセットリコールが可能です。また、ジャックが $1/4"$ TRS MIDI 仕様になり、MIDI コントローラー (300 プリセット) を接続して MIDI フル機能が使用できます。（MultiSwitch Plus に関しては [20 ページ](#)、MIDI に関しては [27 ページ](#)をご覧ください。）

パワーアップモード

EXP/MIDI ジャックの設定



- ③ いずれかのフットスイッチを押し、EXP/MIDI ジャック設定を保存してプレイモードへ戻ります。

NOTE : パワーアップモード設定は、同じ方法で変更されるまで有効です。
設定はプリセット毎には保存されません。

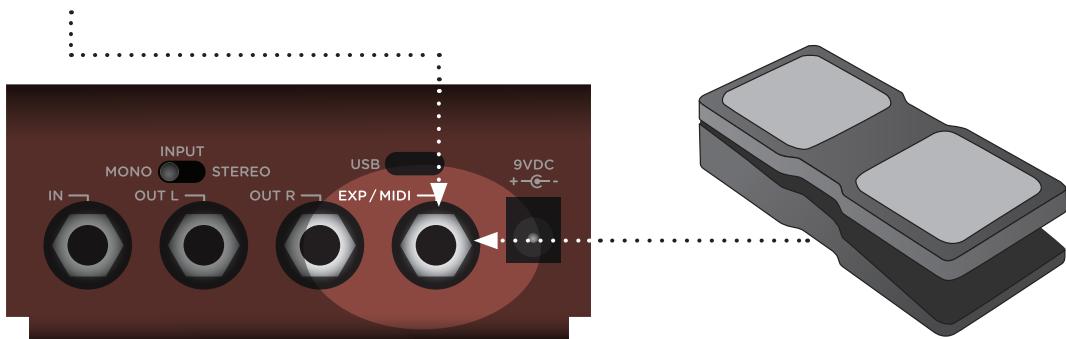
外部コントロール

エクスプレッションペダル セットアップ

TRSタイプのエクスプレッションペダルで、本機のコントロールノブを操作することができます。

- 1 EXP/MIDIジャックをエクスプレッションモードに設定します。**
(詳細は[13ページ](#)をご覧ください。)

- 2 EXP/MIDIジャックにエクスプレッションペダルをTRSケーブルで接続します。**



- 3** 両LEDが**グリーン**に点滅するまで、両フットスイッチを同時に長押しします。
- 4** エクスプレッションペダルをヒール側にロックします。
SLOW/FAST LEDのみが**グリーン**に点滅します。
- 5** ペダルのヒールポジションでコントロールしたいノブポジションを決めます。
SLOW/FAST LEDのみが**レッド**に点灯します。
- 6** エクスプレッションペダルをトウ側にロックします。
ON LEDのみが**グリーン**に点滅します。
- 7** ペダルのトウポジションでコントロールしたいノブポジションを決めます。
ON LEDのみが**レッド**に点灯します。
- 8** いずれかのフットスイッチを押し、エクスプレッションペダルセットアップを保存してプレイモードへ戻ります。

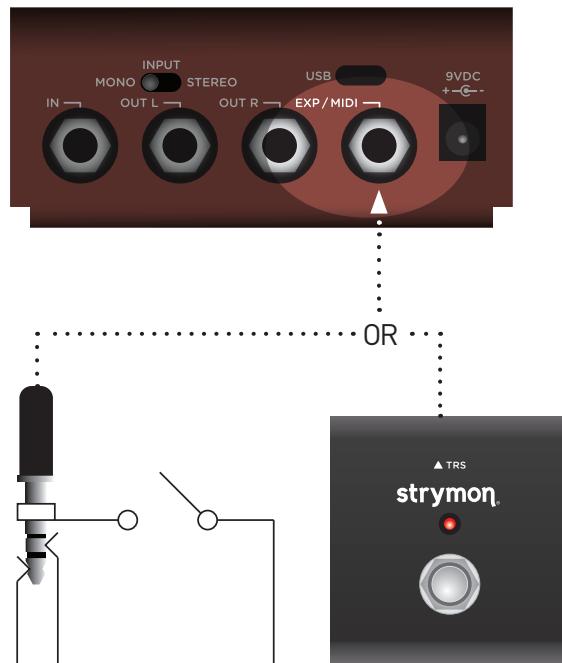
NOTE : エクスプレッションペダルの設定は、フェイバリット毎、MIDIプリセット毎に保存できます。

NOTE : Lexが**MIDI EXPRESSION**に設定され、EXP/MIDIジャックが**MIDIモード**に設定されると、エクスプレッションペダルはMIDI CC# 100 values 0 (ヒール) ~ 127 (トウ) で動作します。

外部コントロール

外部スピードスイッチ モード

スピードモードの切り替えは、MiniSwitchまたはTRSケーブル仕様のラッチスイッチを接続して行います。

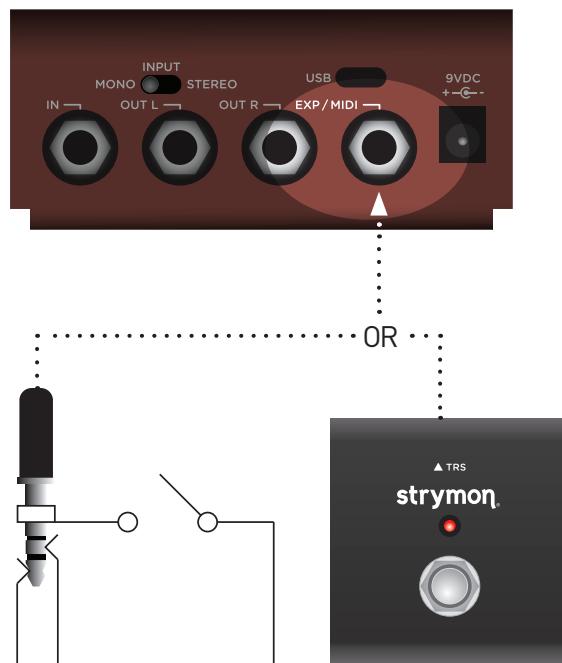


- ① EXP/MIDIジャックをFAV（フェイバリット）モードにします。
(詳しくは[13ページ](#)をご覧ください。)
- ② 外部スイッチをTRSケーブルでEXP/MIDIジャックに接続します。
- ③ ロータースピードのfast、slowを切り替えます。

外部コントロール

フェイバリットスイッチセットアップ&コンペアモード

フェイバリット設定のセーブとリコールには、MiniSwitchまたはTRSケーブル仕様のラッヂスイッチを接続して行います。



- ① EXP/MIDIジャックをFAV（フェイバリット）モードにします。
(詳しくは[13ページ](#)をご覧ください。)
- ② 外部スイッチをTRSケーブルでEXP/MIDIジャックに接続します。
- ③ コントロールをFAV保存するサウンドに設定します。
- ④ FAV設定を保存するには、**グリーン**に点滅するまで両フットスイッチを長押しします。その後、再度**SLOW/FAST** LEDが**ブルー**に点滅するまで、**SLOW/FAST**フットスイッチを長押しします。これで保存は完了です。

外部コントロール

コンペアモード

FAVとMIDIプリセットがリコールされているとき、ノブやスイッチを変更しセーブされたプリセットポジションに合うと、両LEDが**グリーン**に点滅します。

NOTE : 両チャンネルの全ライブエディット設定とバイパス設定は、ノブやスイッチ設定と一緒にFAV&MIDIセッティングとして保存されます。パワーアップモードはプリセットには保存されません。

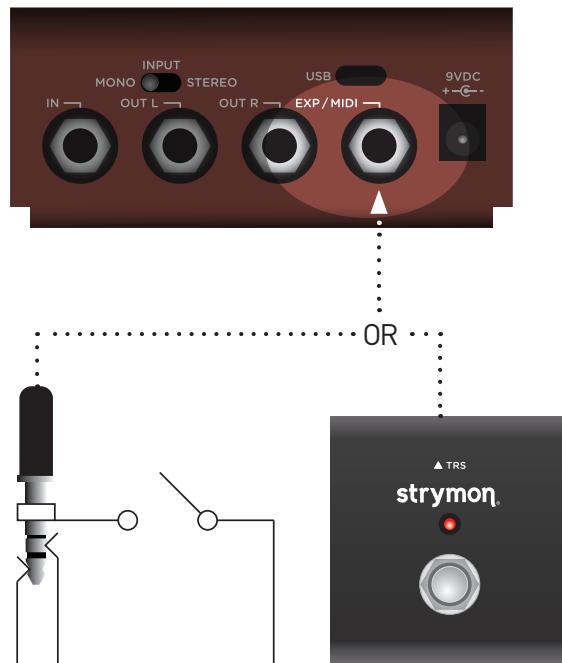
NOTE : MIDIを使用している際のプリセットセーブは方法が異なります。
(詳しくは[22ページ](#)をご覧ください。)

NOTE : FAVセッティングはMIDI PC #0番にセーブされます。

外部コントロール

タップ モード

MiniSwitchまたは外部モーメンタリーフットスイッチをTRSケーブルで本機と接続します。



- ① EXP/MIDIジャックをタップモードに設定します。
(詳しくは[13ページ](#)をご覧ください。)
- ② 外部スイッチをEXP/MIDIにTRSケーブルで接続します。
- ③ 1/4音符のテンポでタップ入力すると、ロータリースピーカーの回転スピードがセーブされます。

外部コントロール

MultiSwitch Plus の設定

本機とMultiSwitch Plusを接続し、3つのプリセットにリモートアクセスする設定方法です。

- ① SLOW / FAST フットスイッチを押したまま電源を投入します。
SLOW / FAST LEDの点滅が止まつたらフットスイッチを離します。
- ② SPEED ノブを最小に回し（左に回し）、MIDIチャンネルを **1** に設定します。
SLOW / FASTはグリーンに点灯します。
- ③ HORN LEVEL ノブを回し、次のMIDI OUTオプションを選択します。
両ON LEDが以下のように点灯します。:
 - MIDI CC、PC、他のデータを送る：ホワイト
 - MIDI CC、他のデータを送る：グリーン
 - MIDI PC、他のデータを送る：パープル
 - 他のデータを送る：アンバー
- ④ VOLUME ノブを右へ回しきり、EXP/MIDIジャックをMIDIモードにします。
ON LEDはブルーに点灯します。
- ⑤ いずれかのフットスイッチを押し、MIDIチャンネル、MIDI出力セッティングを保存してプレイモードへ戻ります。
- ⑥ 本機のEXP/MIDIジャックにTRSケーブルを接続します。



- ⑦ MultiSwitch Plusの A フットスイッチを長押ししながら、TRSケーブルをMultiSwitch Plusに接続し、プリセットモードを選びます。



外部コントロール

MultiSwitch Plus の使用法

MultiSwitch PlusでLexのプリセットをセーブ&セレクトします。



NOTE : MultiSwitch PlusのフットスイッチA、B、Cは、MIDI PC（プログラム チェンジ）1、2、3に相当します。

- ① 点灯していないフットスイッチを踏み、プリセットをリコールします。
- ② 点灯しているスイッチを押してLexをバイパスします。

Lex のプリセットを MultiSwitch Plus でセーブする：

- ① セーブしたいサウンドを設定します。
- ② 両LEDがグリーンに点滅するまで、Lexの両フットスイッチを長押しします。
- ③ MultiSwitch PlusのA、BまたはCスイッチを押しセーブ先を決めます。

MIDI 機能

MIDI 使用の準備

Lexの EXP/MIDIジャックに接続されたMIDIコントローラーまたはインターフェースで、本機の300プリセットへアクセスできます。図のように1/4フォーン出力を備えたMIDIコントローラー/インターフェース、またはStrymon MIDI EXPケーブル、Strymon Conduitを使用します。

NOTE : Strymon MIDI EXPケーブルを使用する際は、MIDI OUTモードはOFFにします。
(詳しくは[26ページ](#)をご覧ください。)

strymon.net/support/lex-v2で適応機種を掲載しています。



MIDI EXP cable

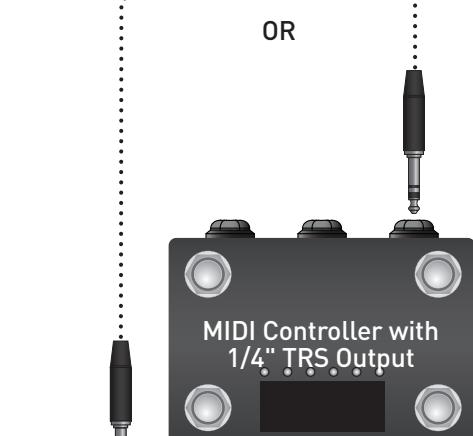


TRS cable



MIDI Enabled Stompbox

MIDI Controller with
5-pin MIDI Outputs



MIDI Controller with
1/4" TRS Output

1/4" TRS
MIDI Interface
(such as Strymon Conduit)

MIDI 機能 - MIDI 使用法

ステップ 1 - EXP/MIDI ジャックを MIDI モードにセットする。

- ① SLOW / FAST フットスイッチを長押ししながら電源を入れます。
両LEDが点滅したらフットスイッチを離します。



- ② ON LEDがブルーに点灯するまで、VOLUMEノブを時計回りに回します。

MIDI機能 - MIDI使用法

ステップ2 - MIDIチャンネルの設定



- ③ SPEEDノブを回しMIDIチャンネルをセットします。
SLOW / FAST LEDがステータスを表示します。：

- Channel1 : グリーン(デフォルト設定)
- Channel 2 : アンバー
- Channel 3 : レッド
- Channel 4-16 : ブルー (要1/4" MIDI接続)

SLOW / FAST LEDが一度ブルーに点灯し、MIDIプログラムチェンジ (PC) メッセージを受信するまで点滅が続きます。MIDI PCメッセージを受けると、本機で使用されるMIDIチャンネルが決まり、点滅が止まります。

MIDI機能 - MIDI使用法

ステップ2 - MIDIチャンネルの設定



- ④ いずれかのフットスイッチを押すと、MIDIチャンネルがセーブされ設定が終了します。

NOTE : MIDIコミュニケーションの状態をチェックするには、ONフットスイッチがバイパスの時に、CC#102で127のバリューを本機へ送ります。MIDI接続と設定が正しければ、ONフットスイッチLEDがon（点灯します）になります。

NOTE : Strymon MIDI EXPケーブルを使用してLexへデータを送るだけの場合は、必ずMIDI OUTモードをオフにしてください。（詳しくは、[26ページ](#)のMIDI OUTモードのセクションをご覧ください。）

NOTE : MIDIチャンネル設定は、フェイバリット毎やプリセット毎には保存されません。

MIDI 機能 - MIDI 使用法

ステップ 3 - MIDI OUT モードの設定

① SLOW / FAST フットスイッチを長押ししながら電源を入れます。

両LEDが点滅したらフットスイッチを離します。



② HORN LEVEL ノブを回し本機から出力するMIDIデータを決めます。

両LEDが点滅してステータスを表示します。

- OFF : レッド - MIDIメッセージは出力されません。 (デフォルト設定)
- THRU : ブルー - 本機が受けたMIDIメッセージをそのままMIDI OUTへ出力します。
- センドCC、PC、OTHER : ホワイト - Lexが送出するMIDI CC、PC、Sysex (システムエクスクルーシブ) メッセージがMIDI OUTから出力されます。
- センドCC、OTHER : グリーン - MIDI CC、Sysex (システムエクスクルーシブ) メッセージがMIDI OUTから出力されます。
- センドPC、OTHER : パープル - MIDI PC、Sysex (システムエクスクルーシブ) メッセージがMIDI OUTから出力されます。
- センドOTHER : アンバー - MIDI Sysex (システムエクスクルーシブ) メッセージがMIDI OUTから出力されます。

③ いずれかのフットスイッチを押すと、MIDI OUTモードがセーブされ設定が終了します。

MIDI機能

MIDIモードにおけるプリセットの保存

MIDIモードでは、300プリセットロケーションの何処へでもプリセットが保存できます。

- ① セーブモード（保存モード）へは、両フットスイッチを長押しします。
両LEDがグリーンに点滅し、MIDI PCメッセージの受信待ちの状態を表示します。



- ② 現ペダルステータスをプリセットロケーションにロードするには、
SLOW / FAST フットスイッチをLEDがブルーに点灯するまで長押しします。



現ペダルステータスをプリセットロケーションにロードするには、（現MIDIチャンネルで）MIDIプログラムチェンジを送ります。例：

- プリセットをセーブするのに、プログラムチェンジ#10をペダルのメモリーロケーションへ送ります。
- このプリセットをリコールするには、MIDIコントローラーまたはシーケンサーからプログラムチェンジ#10を送ります。

NOTE : ON フットスイッチを押してセーブをキャンセルします。

MIDI スペシフィケーション

MIDI プログラムチェンジ

本機には0-299までの300プリセットロケーションがあります。MIDIプログラムチェンジメッセージは最大128（0-127）のため、これらを以下のように3つのMIDIパッチバンクに振り分けます。

MIDI BANK 0 = プリセット 0-127

MIDI BANK 1 = プリセット 128-255

MIDI BANK 2 = プリセット 256-299

0 FAVセッティング（詳しくは[17ページ](#)をご覧ください。）

1 MultiSwitch Plus フットスイッチ 1

2 MultiSwitch Plus フットスイッチ 2

3 MultiSwitch Plus フットスイッチ 3

127 マニュアルモード

NOTE : 一部のMIDIアプリケーションやコントローラーは、MIDIプログラムチェンジを「1」からスタートします。このような場合は、MIDIプログラムロケーションを1つ上げてください。

本機は通常の電源投入時には、MIDI Bank（バンク）「0」が選ばれるため、プリセットは最初の127を使う方が良いでしょう。MIDI PCを受けてプリセットがロードされます。

MIDI Bank1または2を使用する際は、各MIDI PCの前にMIDI Bankチェンジメッセージ（MIDI CC #0とMIDI Bank#）を送る必要があります。

バンク0&パッチ127（MIDIメッセージ）を本機が受けるとマニュアルモードになり、本機のコントロール&スイッチの現セッティング（操作面の実セッティング）に戻ります。これはプリセットとしては保存されません。

MIDI スペシフィケーション

MIDI CCs

LEX - MIDI CC NUMBERS			
CC#	PARAMETER	RANGE	VALUE
0	Bank Select	0-2	(0=Bank 1, 1=Bank 2, 2=Bank 3)
11	Mic	1-2	(1=front, 2=rear)
12	Speed	0-127	
13	Speed (Full Range)	0-127	
14	Mic Distance	0-127	
15	Horn Level	0-127	
16	Ramp	1-3	(1=slow, 2=med, 3=fast)
17	Volume	0-127	
18	Dry	0-127	
19	Preamp Drive	0-127	
20	Bi-Amp Output Mode	0-1	(0=stereo, 1=bi-amp)
21	Cab Filter	0-1	(0=guitar amp, 1=full range)
22	Slow/Fast	0, 127	(0=slow, 1-127=fast)
60	MIDI Expression Off/On	0, 127	(0=off, 1-127=on)
63	MIDI Clock Off/On	0, 127	(0=off, 1-127=on)
93	Remote Tap	Any	
97	Brake	0,127	(0=release, 1-127=hold)
100	Expression Pedal	0-127	(0=heel, 127=toe)
102	Bypass/On	0,127	(0=bypass, 1-127=on)

NOTE : 全てのon/offパラメーターは、0 = off、他のパラメーター（1-127） = on で実行されます。多くのMIDIコントローラーは、「0&127」が「on/off」スイッチで使用されます。

NOTE : 一部のMIDIアプリケーションやコントローラーは、MIDIプログラムチェンジを「1」からスタートします。このような場合は、MIDIプログラムロケーションを1つ上げてください。

ファクトリーリセット

工場出荷時の状態に戻すプロセスです。

設定した機能やプリセットが全てファクトリーデフォルトセッティングに変更されます。

- ① ONフットスイッチを長押ししながら電源を入れます。

両LEDが点滅したらスイッチを離します。



- ② MIC DISTANCE ノブを0から100%まで2度回します。

SLOW / FAST LEDが色を変え、レッドの点滅まで変化します。

- Turn 1 : アンバー
- Turn 2 : レッド
- Turn 3 : アンバー
- Turn 4 : 両LEDがレッド。この後リセットが始まります。

ファクトリーリセット

FACTORY DEFAULT SETTINGS

EXP/MIDI Jack: Assigned to Expression mode and configured to control the **SPEED** knob

Input Level: Instrument

Bypass Mode: True Bypass

MIDI Channel: 1

MIDI OUT Mode: Off

MIDI Clock Sync: Off

MIDI Expression: On

Live Edit, Secondary Functions: **BI-AMP OUTPUT MODE** = 0% (Stereo)
CAB FILTER = 0% (Guitar Amp)



Default Live Edit Setting

主な仕様

- ロータリースピーカーのサウンドと動作特性を厳格に再現したアルゴリズム
- マイクの設置位置が切り替え可能
- fast & slow切り替え時、ホーン＆ドラムの異なる立ち上がり時間を再現しました。
- 2ライブエディット機能（セカンダリーパラメーター）：Bi-Amp とGuitar Amp/Full Rangeスピーカー出力モード
- ブレイク機能を備えたSLOW/FASTスピード切り替えリモートスイッチングが可能
- トゥルーバイパス（リレースイッチング）
- 高性能ウルトラローノイズA/D & D/Aコンバーター
- インストルメント＆ラインの両信号に対応可能な最大+10dBuのワイドヘッドルーム
- TRSエクスプレッションペダル、Strymon MiniSwitch、MultiSwitch Plus、TRS MIDIが接続可能なエクスプレッション入力
- MIDI CCs、MIDIクロック同期、300プリセットロケーションのフルMIDI機能をサポートします。
- コンピューターとのMIDIコネクション、ファームウェアのアップデートが可能なUSB-C ジャック搭載。
- ハイパフォーマンス520MHz ARMスーパースカラープロセッサー
- 32-bit浮遊演算プロセッシング
- ハイインピーダンス超低ノイズClass-A JFETプリアンプ入力
- ローインピーダンステレオ出力
- 堅牢軽量なアルミシャーシ
- Designed and built in the USA

スペシフィケーション

入力インピーダンス	1 Meg Ohm
出力インピーダンス	100 Ohm
A/D & D/A	24-bit 96kHz
最大入力レベル	+10 dBu
S/N	109 dB typical
バイパススイッチング	トゥルーバイパス(リレースイッチング) (D) 11.4 cm x (W) 10.2 cm x (H) 4.4 cm
サイズ	

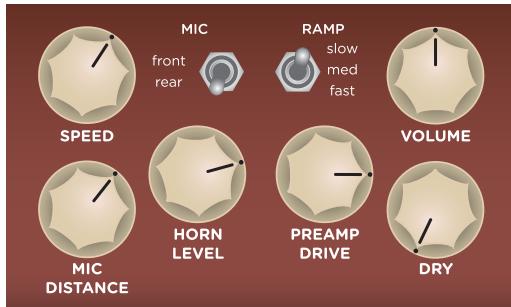
電源アダプター規格

9VDCセンターマイナス、300mA以上のアダプターを使用してください。
9Vより高い電圧を入力すると、本機に損傷を与えます。

Appendix 1 : サンプルセッティング

Sample Settings

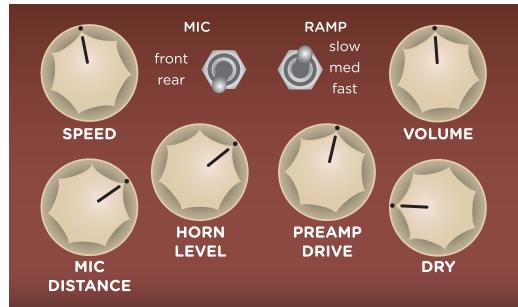
ALMOST PINKISH



Rotor Speed: Slow

MIDI Program Change 0
MiniSwitch Favorite

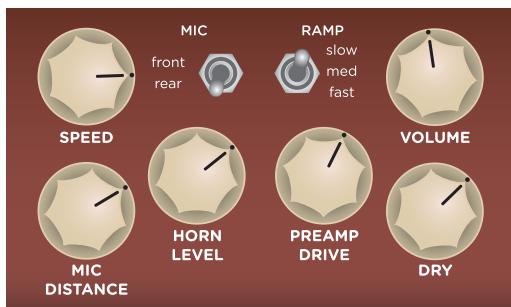
ROOTSY BE THREE



Rotor Speed: Fast

MIDI Program Change 1
MultiSwitch Plus A

LAZY RIVER



Rotor Speed: Slow

MIDI Program Change 2
MultiSwitch Plus B

SLOW SWIRLY CHORUS



Rotor Speed: Slow

MIDI Program Change 3
MultiSwitch Plus C

SHOT OF ESPRESSO



Rotor Speed: Fast

MIDI Program Change 4

ライブエディット機能

Lexにはノブやスイッチがない幾つかのパラメーターが存在します。これらをライブエディット機能と呼び、[7ページ](#)で詳しく説明しています。このページのサンプルセッティングは、この機能のデフォルト設定を採用しています。

Appendix 2 : パワーアップモード クイックリファレンス

パワーアップモード - クイックリファレンス

グローバルパラメーターと機能は、通常の電源オン/オフの際には設定が保持されます。

ジェネラル・オプション

- ① ONフットスイッチを長押ししながら電源を接続します。両LEDが点滅したらフットスイッチを離してください。
- ② ノブやボタンの機能設定は下記をご覧ください。
- ③ いずれかのフットスイッチを押してこのパワーアップ設定から出ます。

入力レベル SPEED ノブを回して、設定したいモードに合わせてください。

図を用いた説明は [11](#) ステータスは SLOW/FAST LED に表示されます。
[ページ](#)をご覧ください

- インstrument : グリーン (デフォルト設定)
- ライン : レッド

バイパスモード VOLUME ノブを回して、設定したいモードに合わせてください。

図を用いた説明は [12](#) ON LED に表示されます。
[ページ](#)をご覧ください

- トゥルーバイパス : グリーン (デフォルト設定)
- バッファードバイパス : レッド

ファクトリーリセット MIC DISTANCE ノブを 0% ~ 100% まで 2 度回します。

図を用いた説明は [30](#)
[ページ](#)をご覧ください

パワーアップモード - クイックリファレンス

グローバルパラメーターと機能は、パワーアップモードを実行する際にアクセスできます。通常の電源オン/オフの際には設定が保持されます。

MIDI & Jack オプション

① SLOW / FAST フットスイッチを長押ししながら電源を接続します。

両LEDが点滅したらフットスイッチを離してください。

② ノブやボタンの機能設定は下記をご覧ください。

③ いずれかのフットスイッチを押してこのパワーアップの設定から出ます。

EXP/MIDI ジャック モード VOLUME を回すと ON LED がチャンネルステータスを表示します。

図を用いた説明は [13 ページ](#)をご覧ください

- エクスプレッション：グリーン（デフォルト設定）
- 外部スピードスイッチ：パープル
- フェイバリット：アンバー
- MIDI：ブルー

MIDI チャンネル

図を用いた説明は [24 ページ](#)をご覧ください

SPEED ノブを回すと SLOW / FAST LED がチャンネルステータスを表示します。

- 1：グリーン（デフォルト設定）
- 2：アンバー
- 3：レッド
- 4-16：ブルー（受けた MIDI メッセージでチャンネルセレクトされます。）

MIDI アウトモード

図を用いた説明は [26 ページ](#)をご覧ください

HORN LEVEL ノブを回すと両 LED がチャンネルステータスを表示します。

- OFF：レッド（デフォルト設定）
- THROUGH：ブルー
- ON CC、PC、OTHER：ホワイト
- ON CC、OTHER：グリーン
- ON PC、OTHER：パープル
- ON OTHER：アンバー

Appendix 3 : ライブエディットコントロール クイックリファレンス

ライブエディットコントロール - クイッククリファレンス

Lexには、特定ノブやスイッチのない幾つかの機能が隠されています。

これらはプリセット毎にセーブできます。詳しくは[7ページ](#)をご覧ください。

- ① 両LEDが点滅しライブエディットモードに入るまで、ONフットスイッチを長押しします。
- ② フットスイッチを離し、次の説明に従って設定します。
- ③ ONフットスイッチを押して、設定を保存しライブエディットモードから出ます。

BI-AMP 出力モード SPEED ノブを回すと SLOW/FAST LED がチャンネルステータス図を用いた説明は [7](#) を表示します。

[ページ](#)をご覧ください **グリーン** (L- ステレオ、デフォルト設定)
レッド (R- バイアンプ)

CAB フィルター VOLUME ノブを回すと ON LED がチャンネルステータスを表示図を用いた説明は [8](#) します。

[ページ](#)をご覧ください **グリーン** (L- ギターアンプ、デフォルト設定)
レッド (R- フルレンジスピーカー)

MIDI クロック同期 RAMP スイッチを fast (ダウン) または slow (アップ) にすると、図を用いた説明は [9](#) 両 LED が一時的に点灯します。

[ページ](#)をご覧ください

- **fast** ポジション : OFF、**レッド** (デフォルト設定)
- **slow** ポジション : ON、**ブルー**

MIDI エクスプレッション MIC スイッチを front または rear に設定すると、両 LED が**ブルー** (オン、デフォルト設定) ~**レッド** (オフ) でコントロールの変

図を用いた説明は [10](#) 化に反応してステータスを表示します。

[ページ](#)をご覧ください

品質保証について

本機はStrymon 日本総代理店 株式会社HotoneJapanが、ご購入後1年以内の品質保証を行っております。修理が必要な際は、購入時の保証書(購入期日及び販売店の捺印 必須)を提示の上、購入された販売店にご依頼下さい。保証書の提示が無い場合は、保証内であっても保証の対象にはなりません。

保証対象者は「購入者」であるファーストオーナーに限られます。中古品を売買するサイトや販売店からの中古品、譲渡された製品は、この保証の対象にはなりません。また、海外で購入されたStrymon製品は、国内では保証の対象にはなりませんので、ご了承ください。

ノート：全てのStrymon製品はシリアルナンバーが登録&保存されています。

注：本書に記載された文章、図版、作品は、全て「著作権」及び、それに付随する「著作隣接権」等の諸権利を保有しています。弊社では、内容を理解することを目的とする使用方法のみを許諾しております。

▲ 警告：安全のため、特に注意していただきたいこと

1. 異常があるときは電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入先もしくは、弊社迄ご連絡下さい。異常な音がしたり、煙が出て異臭がした時などは、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
2. 電気ショックを避けるため、本体を絶対に開けないで下さい。本機は、高電圧が発生しているため危険です。内部に触ると感電する恐れがあります。内部の調整や修理は、弊社にご依頼下さい。また、火事や感電を避けるために、湿度が非常に高い場所に置いたり、雨天の際に野外で使用することは避けて下さい。

▲ 警告：次のような場所での使用は出来る限り避けて下さい。

- 湿度の非常に高い場所
- 砂やほこりが多い場所
- 台所、バスルーム、湿気の多い地下室など、水のかかりやすい場所
- 空気の循環を妨げる場所、ヒーターの近くなど、温度が高い場所

品質保証について

■ 取り扱いについて

乾いた柔らかい布を使用して、外装をきれいに保ちましょう。
クリーナーやシンナーは使用しないでください。

■ サービスについて

このマニュアルに記載されていない操作や取り扱いは行わないで下さい。
記載外の使用方法で本機を使用されますと故障する場合が考えられます。本書に基づいた使用方法に限定してください。記載外の使用方法による破損や修理は、保証期間中の機器であっても保証対象外になります。本体の取り扱いは慎重に行って下さい。万が一、負傷された場合でも弊社では一切の責任を負いません。
修理が必要な場合は、ホームページ内の「修理について」ページよりご連絡ください。

strymon 正規輸入販売代理店

株式会社HotoneJapan

113-0034 東京都文京区湯島2-2-4 JP-BASE
御茶ノ水 9F

一般のお問い合わせ：ホームページ内の「お問い合わせ」
ページよりご連絡ください。
商品の修理について：ホームページ内の「修理について」
ページよりご連絡ください。